

疾患名

小細胞肺癌

No.262

プロトコール名

イミフィンジ+ VP-16・CBDCA

進行・再発癌

術後補助化学療法

術前補助化学療法

大量化学療法

局所療法

その他()

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与方法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	デュルバルマブ (イミフィンジ)	1500mg/body	div	60分	d1
2	カルボプラチン (CBDCA)	AUC5	div	60分	d1
3	エトポシド (エトポシド・VP-16)	100mg/m ²	div	90分	d1.d2.d3

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	21日
総コース数	4サイクル(終了後はイミフィンジ4週間間隔で維持療法)
コース間での休薬の規定	重篤なirAE発現時:イミフィンジ休薬、G3以上の血液毒性または非血液毒性発現時

減量規定・中止基準	減量基準 ・イミフィンジ:なし ・カルボプラチン、エトポシド:G4以上の好中球減少症、血小板減少症、FN発現時には75%に減量 ・カルボプラチン:G3以上の下痢・悪心・嘔吐、G2の神経毒性、肝障害 G3、他の非血液毒性発現時には75%に減量、G3の神経毒性発現時は50%減量または中止 中止基準 イミフィンジ:重篤またはコントロールできないirAE発現時 ・カルボプラチン:G4の肝障害
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	イミフィンジ→カルボプラチン→エトポシド
プレ Medikation・ポスト Medikation	<プレ Medikation> p.o アプレピタントカプセル125mg(day1)80mg(day2-3) div グラニセトロン注1mg+デキササート注3.3mg 1A(day1-3)

※CTCAE v5.0

患者条件

- ・PS 0~2
- ・主要臓器機能に大きな異常がない

除外規定

- ・PS3以上
- ・重篤な骨髄抑制のある患者や、感染症を合併している患者
- ・本剤に対し過敏症の既往歴のある患者、他の白金を含む薬剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者

実施上の注意点

- 慎重投与
- ・PS2以上
- ・75歳以上の高齢者
- ・自己免疫性疾患のある患者
- ・骨髄抑制のある患者
- ・間質性肺炎、肺線維症、又はこれらの疾患の既往歴のある患者
- ・肝障害、腎障害のある患者
- ・イミフィンジ:30kg以下の場合20mg/kgで投与

その他(特記事項)

- イミフィンジ:本剤投与時はインラインフィルターは使用
- エトポシド:フィルターを避けること
- アプレピタント内服(ステロイド使用量を少なくするため)